



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行
広報部

【第131号】

6年生 卒業おめでとう！



たくさんの人達の思いやりに気づき、感謝の気持ち
でいっぱいです。

自分を大切にして、ほかへの思いやりを大切にして
中学校へと進みます。

わが母校

校長

梅林 次生

私は三月三十一日で定年退職となります。島三小に勤務すること十四年、小学校六年間を加えますと二十年間島三小に通ったこととなります。代は変わりましたが、この間、育友会の皆様にはもとより、地域の方々にも大変お世話になりました。

島三小は、子ども銀行で大蔵大臣日銀総裁表彰各三回、理科教育振興で第一回ソニー賞受賞、昭和三十六年四月昭和天皇御巡幸（日本でただ一校）、数々の研究発表会、百二十二年の歴史と昭和二年建築の鉄筋コンクリート校舎。このような輝やかしい歴史と伝統に育まれた島三小で、最後の年を迎えられた幸せを今、ひしひしと感じております。

又、この伝統ある学校で学ぶ子どものために、日夜努力して下さる諸先生方、家庭、地域の皆様に厚く感謝申し上げます。

これからも、島三小の歴史の一ページを担う子どもたちの成長を校舎が、校庭の樹々が、じつと温かく見守っていくことでしょう。

そして、わが母校の発展に涙することでしょう。

校長としては、二年間という短い期間でしたが、皆様のご協力から御礼申し上げます。

皆様方に幸多からんことを島三小に栄光あれ

「一人ひとりが 生かされ 自ら学ぶ」 三小の子を目指して

頭 恭 子
吉 田

本校は児童数五百七十名の学校です。どの学年も三学級ずつの学年は百名前後の人数です。

平成七・八年度島原市教育委員会の指定を受けて、「一人ひとりを生かし、自ら学ぶ力を育てる学習指導」をテーマに、全職員一丸となって指導法改善のための研究に取り組んでいます。特に、複数の教師による協力指導（ティーム・ティーチング、以下T・Tと略す）により、子ども達が主体的に活動し、学ぶ力を身につけることができ、自ら力によって学習していくことができるようになることを目指しています。

す。そこでのT・Tのよさは、学習の個性化（個性に合った指導をすること）、個別化（一人ひとりを指導すること）を可能にし、個に応じた指導の充実が図られることを、指導法の推進者であられる上智大学教授・加藤幸次先生の御指導をおおきながら実践してきました。授業参観の折にも感じられたと思います。子ども達は、自分の力に合った学習の場と学習の目標により、一人ひとりが生き生きと学習に取り組む姿がみられるようになってきました。本校では児童活動や行事など、学校における教育活動全般を広い意味でのT・Tととらえ、教師がティームを組んで協力して指導にあたることを大切にしています。

また、地域の人材、保護者、公共施設の人々など幅広い支援者を求めたT・Tも組み、授業への参加をいただきました。

今、三小は全職員が一つの学校ティームを組んでいるという意識が高まり、子どもの立場に立った授業改善が進められています。

一年間を
ふりかえって

一年生担任

前田 繁子

他の学年と比べると、一年生の一年間の成長はとて大きいように思います。

まだあどけない顔で、席に着くことにも慣れず走り回っていた四月に比べると、今はもう顔つきがすっかりしていて、態度に落ち着きもみられます。

勉強や運動など、できるようになったことはたくさんありますが、学校という集団生活を通して、友達への思いやりや、がまんすること、きまりを守ることなどが身についた時、子ども達の顔つきがすっかりするのを感じた一年間です。

低学年から卒業

二年生担任

森 本 洋子

二年生の子どもの達の一年間をふり返ってみると、「心身ともに大きく成長」この言葉がびつたりです。四月、まだ一年生気分が抜けきらず、元気さだけがとりえだった頃



に比べると、自分達だけで学習する力をつけたり、全体を考えて行動したりと、少しずつではありませんが、中学年を迎える準備ができつつあるようです。

四月、初めてのクラス編成を体験し、新しいメンバーで新しいクラスを作ります。学年全体で仲良く学習した経験が、きつと役立ってくれることでしょう。

振り返ると……

三年生担任

丸山尚子

四月・五月は、窓ガラスの割れる音。けんかで顔を真っ赤にしている子や、口を尖がらせて怒った顔をしている子。家の人を呼んで、病院に連れて行ってもらう子等様様で、その日の事を追いかけて解決していくことの連続でした。

しかし、今、振り返ってみると砂地にくっつきりと素足の足形がついていくように成長のあとがうかがえます。けがも少なくなり、学習への集中や集団行動もずいぶん良くなりました。

隣の友達へ思いやりを忘れない四年生になることを願っています。

明るく元気いっぱい

四年生

四年生担任

吉田文子

四年生は、この一年間を同学年としてガツチリとスクラムを組み、ひとつひとつの行事をクリアしていきましました。

その土台になったのが、五月の図工で学年T・T「ぼくの好きな体育、私の好きな体育」で粘土の共同製作をしたことです。学級の枠を外して、学年のまとまりで担任が目配りをしたり、声をかけ合ったりする体制ができ上がりました。

運動会では、二年連続のソーラーション節ということで、三年生とペアを組んで一対一で教えながら、リーダー性をつけていきました。そして、運動会当日には大きな拍手をもらえたことで、一人ひとりが自信をつけました。

十一月の市民音楽祭では、四年生のカラーを出した「世界の民謡めぐり」で、大舞台でも変わらぬのびやかな歌声に大きな拍手をもらいました。

持久走大会でも「自分に負けな走り方をしよう」という合言葉で、

腕のふりや呼吸方法などを工夫して走り、参加した人が全員完走することができました。

また、人権集会の後の取り組みでは、いじめについての話し合いを持ち、学年の中からいじめをなくしていこうと話し合いました。友達への心の痛みについて考える機会になりました。たくさんの方の行事を通して、一人ひとりがひと回り成長しようです。

二月には、委員会活動の組織づくりをして、高学年としての仕事ができ、四月には新しい学級で、新しい仲間と新しい先生との生活です。様々な行事を通して、つけた力を十分に活用して、信頼される五年生になってほしいです。様々な行事があるたびに、四年生の活動を支えてくださった保護者の方々、本当にありがとうございます。

五年生として

考えること

五年生担任

菅 滋 美

高学年として六年を助け、委員会活動に、運動会に、児童会活動にと、活動の場で自分の力をいっばい出し切ることでできる子どもに育てて来ただろうかと思われ。

子ども達は、元気で明るく強者ぞろいである。学年活動等で学級対抗のドッチボール、バスケットボールなどする時の勢いはものすごい。目は血走っているのである。去る小体連での団体競技では、一位から三位まで三小で独占した。しかし、練習時での様子といったより、勝敗のみが気にかかるのである。

学習時になると大変おとなしく、学習道具忘れの多さには三人の担任は閉口しきっている。最近の子ども達は、あまりにもやるべきことが多くて、時間が足りないことばかりである。せめて学習道具をきちんと用意して、四十五分の学習時間を上手に使って欲しいと願うばかりである。

いよいよ五年生の真価が問われる時、全員総力を結して「六年生を送る会」を成功させるべく指導をしたと思います。三小に慣れないままに一年間が過ぎ、学年の先生には大変迷惑をかけました。反省することの多い一年間でした。

自分を信じて

六年生担任

吉田光利

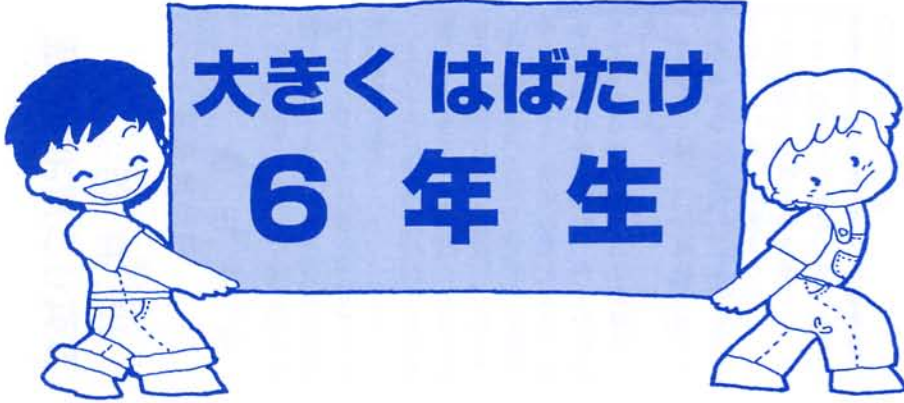
フレッシュな二人の先生と個性豊かな一〇二名の子ども達との生活は、何が起るかわからないスリルにとんだものだったし、やる時にはやる底力を感じたものでもありました。

まだ、どことなくあどけなさが残っていた四月の顔に比べると、すっかりした表情になっている今日この頃です。たくましさにくんとします。反面、人との交わりの経験の少なさを考えさせられるところもあり、まだまだこれからだなと気をひきしめさせたいと思います。

そんな気になるところがある子ども達ですが、良さもたくさん持っています。その良さを早く知り、どういうタイプに自分を高めていきたいのか、自己決断できる力の基礎を身につけさせたいと思いつけてきました。

中学校では、その芽を大きくふくらませてほしい。開花するまで

に個人差はあってもいい。(いや、あるのが当然)。自分を信じて、近い将来必ず訪れるチャンスを見逃さずに、しっかりとつかんでほしいと願っています。



夢

平成七年度六年一組

スタイリスト 病院の先生 拓也	保母さん 史子	保母さんになりたい おいしい料理を作る 私 香葉	シェフ 大輔	タレント
保母さん 志	デザイナー あざけ	サッカー選手 高介	ピアノの先生 優吏	声優さん 友梨
コックさん 美容師 末子				サッカー選手 優介
プロ野球選手 裕一朗				美容師 浩美
ピアノの先生ががが 平松ま子				建築家 翔輝
保母さん ワタナベマユ				プロテニスプレーヤー 光範
医者 晴紀	声優さん 香	学者 若葉	薬剤師 七草	女医さん 由佳
100才まで生きる 睦	女子サッカー選手 上田真里	マンガ家 香緒	よきてんをたてる 七草	ピアノの先生 綺
				医学者 健司
				画家 由美

6年1組担任 成枝祥子 先生

アニメをつくる人(葉子) 保母さん(由香) 機械を作る人(菊田) アニメをつくる人(藤衣)

ドラゴンの運転手になりたい(和風) 医者になりたい(智佳) 音楽をやる人になりたい(林香) ゲームデザイナー(弘文) 大工になりたい(智久)

デザイナーになりたい(精) 美容師になりたい(香) 保母さんになりたい(和香) 玉の輿になりたい(穂穂子) 野球選手になりたい(晃一)

先生になりたい(史子) 平成7年度 保母さんになりたい(又子)

一流企業の会社に入る!(光) 6年2組 歌の歌手になりたい(和風)

大工になりたい!(尚之) 魚屋になりたい(悠希) 声優になりたい(美由) 自衛官になりたい(恵) 看護婦になりたい(解島)

雑誌を編集者になりたい(寿子) 看護婦(留美) 政治家になりたい(一丹) ファッションデザイナー(玲奈) 幸せになる(文)

まん画家になりたい 保母さんになりたい 浅草湯屋(由希) ばんきんぐになりたい(和二) 建築家になりたい(悠翔)

夢

6年2組担任 柴田 智成 先生

平成7年度 6年3組

料理人になって店を出したい。 信世 人々によろこばれるいるかのパン屋になりたい。 猛

犬のみせてはあげない! (しんざく)

ぼくは2匹の魚を育てよう! (がんぼろ)

学者になりたい。 考古学の教授になりたい。 湖一郎

日本の先生になりたい。 健太

公務員になって市役所で話やくする。 秀治

ニュースキャスターになつ有名になりたい。 達紀

ゲーム会社の社長になりたい。 芳紀

私は保母さんにせりたいです。 美咲

イラストレーターになりたい。 千尋

私は保母さんになりたい。 美咲

音楽の先生になりたい。 美美子

通訳になって世界のいろんな所へ行きたい。 翔子

自分の会社をたてたい。 世界一周もあやま。 麻衣

ゲーム会社の社長になりたい。 美子

保母さんになりたい。 美咲

プロテニスプレイヤーをめざす。 渚

外国に500万円大金をばけよう。 美佳

お金をためて世界一周する。 那

テレビゲームの天才長になりたい。 美佳

秋の節句をしたい。 Day

看護婦になりたい。 輪子

保母さんになりたい。 留美

ぼくはアメリカに大リーグの試合をみに行きたい。 尚紀

保母さんになりたいです。 美佳子

保母さんになりたい。 美和

はくさん Dream

6年3組担任 吉田 光利 先生

親子綱引き大会



一月二十一日(日)、三小体育館で親子綱引き大会が開催されました。子ども達も保護者の方達も、力のはいった競技と熱のこもった応援、大変にぎやかで盛りあがった大会でした。

結果は次のとおりです。

〔低学年の部〕

- 一位……霊 南
- 二位……新山西
- 三位……西八幡

〔高学年の部〕

- 一位……新山二丁目
- 二位……浦田元船津

〔父母の部〕

- 三位……白土桃山一丁目
- 一位……霊 南
- 二位……崩山B
- 三位……新山二丁目

最後に、体育部の皆さんと、この大会に協力下さった先生、保護者の皆様大変お疲れさまでした。

卒業バイキング



三月七日(木)、六年生を対象に「バイキング給食」が行なわれました。

健康部・島原市教育委員会共催で行なわれた訳ですが、健康部のお母さん方は準備が大変だったと思います。

今年、去年よりもメニューも

増え、その分、選択の余地も増え、よりバイキングらしくなりました。子ども達は大喜びで、男子も女子も、何度もおかわりに行く子がたくさんいて、最後はテーブルに何も残らないほどきれいに食べてしまいました。

むかしからのあそびを みんなとたのしもう



二月一日(木)に、一年生全体で生活科の授業に取り組みました。けん玉・あやとり・竹馬・たこ上げなどを、様々な昔の遊びのプロである白山地区健全育成会の方々に伝授していただきました。子どもたちは、とても楽しそうに活動していました。

今年初めて「がんばん」の製作に携わって、いろんな事を勉強させてもらいました。当初の自分のイメージした物と随分と違う内容になりましたが、広報部のスタッフと担当の先生方と試行錯誤しながら製作を続けてきました。

この一年間「がんばん」を愛読頂き、ありがとうございます。(広報部)

編集後記

三小の校庭に可愛い石の彫刻が立てられ、子どもたちの人気的になっていきます。

この石像は、三小同窓会々長を務める山本萬五郎さんが寄贈されたものです。石像の名前は三小にあやかっただ「三」と、元氣者を意味する「太」を合わせ「三太」と命名されました。子供たち同様に父兄の方々も学校に行かれた時には声をかけ、可愛がって下さい。

三太君が来た!

